



令和4年度千葉市 I R 資料
持続可能な財政運営に向けて



1 千葉市について

千葉市のプロフィール	P. 3
都市と自然が調和する政令市	P. 4
千葉市の特徴	P. 5
企業立地 ～研究開発・製造・サービス業と多岐にわたる産業集積～	P. 6

2 起債運営について

起債運営方針	P. 8
市債資金調達の推移(新規事業分+借換分)	P. 9
これまでの市場公募債(個別債)の発行状況	P. 10
令和4年度 市場公募債発行計画	P. 11

3 千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和3年度)	P. 13
普通会計における歳入規模と歳出規模の推移	P. 14
中期財政運営方針(令和4年度～令和7年度)	P. 15
普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)	P. 16
全会計における市債残高の推移	P. 17
健全化判断比率の推移	P. 18
財政力指数の推移	P. 19
市債管理基金(減債基金)	P. 20

4 千葉市の取組みについて

令和4年度当初予算の特徴	P. 22
千葉市独自の主な新型コロナウイルス感染症対策、原油価格・物価高騰対策	P. 23
千葉市のSDGsへの貢献	P. 24
千葉市ふるさと応援寄附金(ふるさと納税) ～一般財源確保に向けた取組み～	P. 25



1. 千葉市について



千葉市のプロフィール

千葉市の名所

幕張メッセ



- 日本を代表するコンベンション施設。東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場

ZOZOマリンスタジアム



- プロ野球・千葉ロッテマリーンズの本拠地

加曽利貝塚



- 日本最大級の縄文時代の貝塚（平成29年10月特別史跡に指定）

海辺



- いなげの浜・検見川の浜・幕張の浜からなる日本最長の人工海浜（総延長約4.3km）

猪鼻城址



- 千葉市の礎を築いた武士・千葉氏の本拠と伝えられる
- 現在は郷土博物館が建つ

千葉市の概要

市制施行

大正10年1月1日
※令和3年1月1日市制100周年

政令指定都市移行

平成4年4月1日

面積

271.76km²

人口

977,726人（R4.9.1現在）

世帯数

479,749世帯（R4.9.1現在）

生産年齢人口比率

62.3%（R4.6.30現在）

千葉市章

千葉市章のデザインは、
千葉氏の月星紋に、
千葉の「千」を配したもの



都市と自然が調和する政令市

- 千葉市の都市部では文化・芸術施設が充実するほか、平成30年度に千葉駅がリニューアルされるなど交通の利便性にも優れています
- 一方、海や豊かな自然にも恵まれており、人工海浜ではマリンスポーツが楽しめる上、動物公園等では自然に囲まれながら動物と触れ合うことができます

都市部

千葉駅

- 千葉駅周辺の活性化グランドデザイン策定により、千葉都心全体の将来像を明確化
- 市街地再開発事業による千葉駅東口周辺の新たなランドマークとなる民間再開発ビル竣工(令和4年11月)



千葉都市モノレール

- 昭和63年に開業
- 平成11年3月千葉駅～県庁前駅が開通し、懸垂型モノレールとしては世界一の長さを誇る



TIPSTAR DOME CHIBA

- 自転車競技の国際規格に基づいた250メートル木製トラック(バンク)を有する多目的スポーツ施設
- 国際大会で行われる自転車トラック種目の「ケイリン」に準拠した、世界初の公営競技「PIST6」を開催中



都市部

自然

自然

動物公園

- 立ち姿で有名なレッサーパンダ「風太」を飼育することで知られる動物公園
- 令和2年7月21日からは地上最速の動物「チーター」等の展示を開始



オオガハス(千葉市の花)

- 1951年に検見川で発掘された実から蘇った古代のハス
- 6～7月に優美な花を咲かせ、毎年開花時期にあわせ大賀ハスマつりを開催



千葉ベイサイド

- 人工海浜や旅客船さん橋などがあり、非常に魅力的なエリア
- 特に、千葉市の人工海浜は4.3kmで日本一の長さを誇る

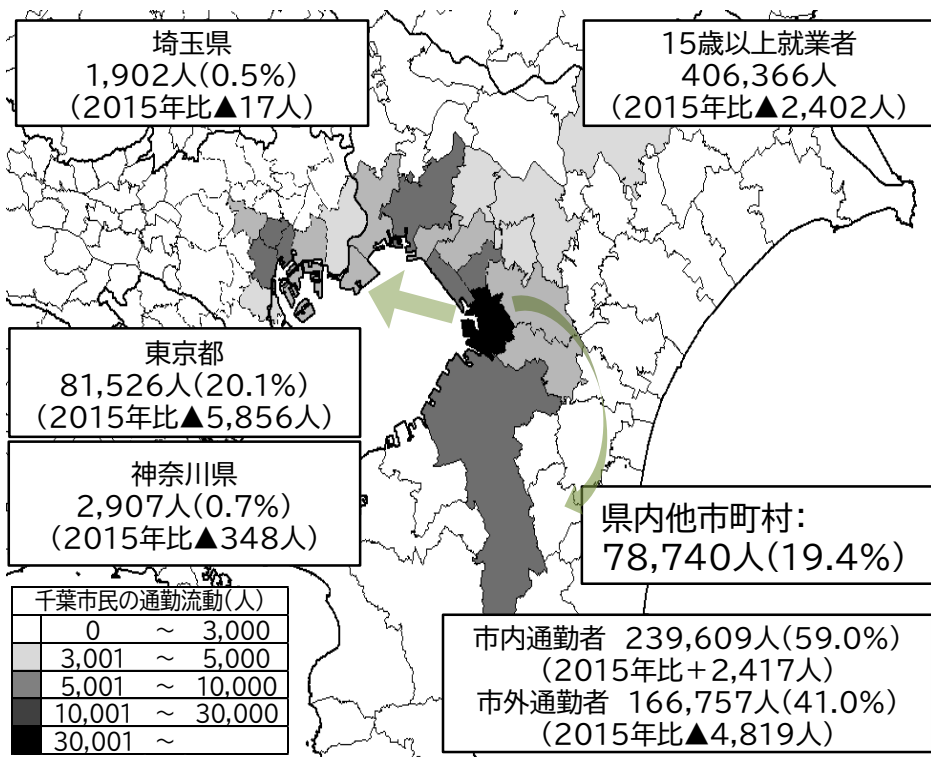


千葉市の特徴

通勤流動と昼夜間人口比率

- 東京への通勤者は20.1%にとどまり、**市内通勤者が過半数(59.0%)**を占めています
⇒ いわゆる“千葉都民”というイメージとは異なる結果となりました
- **昼夜間人口比率*も首都圏政令市で突出しています** ⇒ 職住のバランスが良く、県内で高い拠点性を有しています

千葉市からの通勤状況



首都圏政令市の勤務先別割合(%)

		千葉市	さいたま市	川崎市	横浜市
勤務先	市内	59.0	51.5	44.0	61.8
	県内他市	19.4	15.5	12.4	11.8
	東京都	20.1	29.9	42.4	25.2

首都圏政令市の昼夜間人口比率*

千葉市	さいたま市	横浜市	川崎市	相模原市
98.1	92.9	92.5	87.3	88.9

*昼夜間人口比率とは

夜間人口と昼間市内にいる人の割合を比べた値。市外への通勤・通学者が少なく、市外から通勤・通学者が多く集まる都市ほど、割合が高くなる

(備考) R2年国勢調査

企業立地 ～研究開発・製造・サービス業と多岐にわたる産業集積～

企業立地補助制度の概要と特徴

- 税源の涵養や雇用創出を図るため、補助メニューや要件を毎年ブラッシュアップ。企業の投資意欲を積極的にサポートしています
- 幅広い対象業種と対象地域、オフィス賃借に対する補助(賃借型)など、多彩な補助メニューに加え、既進出企業への追加投資に対する補助メニューを設けるなど、立地後も安心の操業環境を創出しています

幕張新都心

情報通信産業・小売業等が集積

主な立地企業

- イオン(株)(本社)
- (株)NID・MI
- (株)QVCジャパン
- (株)生活品質科学研究所
- フジフーズ(株)
- (株)ウェザーニューズ
- (株)キッツ
- 新日本建設(株)
- セイコーインスツル(株)
- 西日本鉄道(株)

中央港・新港地区

千葉食品コンビニを中心に製造・運輸業等が集積

主な立地企業

- (株)オランダ家
- 大東製糖(株)
- 千葉共同サイロ(株)
- (株)ニッポン
- 理研ビタミン(株)
- 白鳥製薬(株)
- 千葉製粉(株)
- 日新製糖(株)
- 山崎製パン(株)

臨海部

鉄鋼・電力等の素材型工業が集積

主な立地企業

- JFEスチール(株)

ネクストコア千葉菅田

地域との共存を目指す次世代の核となる都市型産業団地

主な立地企業

- イオンネクスト準備(株)
- (有)一蘭
- タカラ食品工業(株)
- ユアサ・フナシヨク(株)

内陸部

食品生産・加工、一般機械・金属加工型工業が集積

主な立地企業

- アルケア(株)
- (株)オスミックアグリ千葉
- 鬼怒川ゴム工業(株)
- 住友重機械工業(株)
- (株)二宮産業
- (株)オーエックスエンジニアリング
- (株)サイゼリヤ
- (株)ZOZO
- (株)メックアグリ

ちばリサーチパーク

緑豊かな自然の中に整備された業務用・研究用地

主な立地企業

- (株)カナモト
- (株)タダノ

千葉土気緑の森工業団地

広大な敷地を有する首都圏最大級の内陸工業団地

主な立地企業

- (株)イトーキ
- 日清紡ホールディングス(株)
- 日清紡ケミカル(株)
- 小池酸素工業(株)
- (株)吉野機械製作所

企業誘致の実績と件数

平成24年度～令和3年度 合計

274件

単年度平均

約27件

単年度過去最高(平成26年度)

37件

平成24年度に補助制度を大幅に拡充して以降、制度のブラッシュアップを重ねており、企業立地の促進を図っています。
誘致件数は高水準で推移しており、市内の産業集積の原動力となっています。



2.起債運営について

起債運営方針

- 本市は、積極的なIR活動を通じて、財政状況や事業内容に関する投資家の皆様への情報発信に努めて参ります
- 市場環境を踏まえた上で、投資家の皆様と丁寧に対話をしていく起債運営を基本的な方針としております。その観点から、令和2年度より主幹事方式を採用する等、起債運営の見直しに取り組んでおります

千葉市の起債運営方針と具体的な取組み

起債運営方針の概要

積極的な
IR活動の実施

投資家の皆様の
ニーズ把握

起債年限・調達手法
の多様化

千葉市債の
更なる認知度向上

直近の見直し事項

- | | |
|--------|--|
| 令和2年度～ | ・主幹事方式による発行開始
20年定時償還債（令和2年度～）
10年満期一括債、30年定時償還債（令和3年度～） |
| 令和3年度～ | ・公営企業（下水道事業等）における
市場公募債の発行開始 |
| 令和4年度～ | ・フレックス枠を活用した資金調達の開始 |

今後の検討事項

- ・更なる年限の多様化

千葉市債発行における目指すべき姿

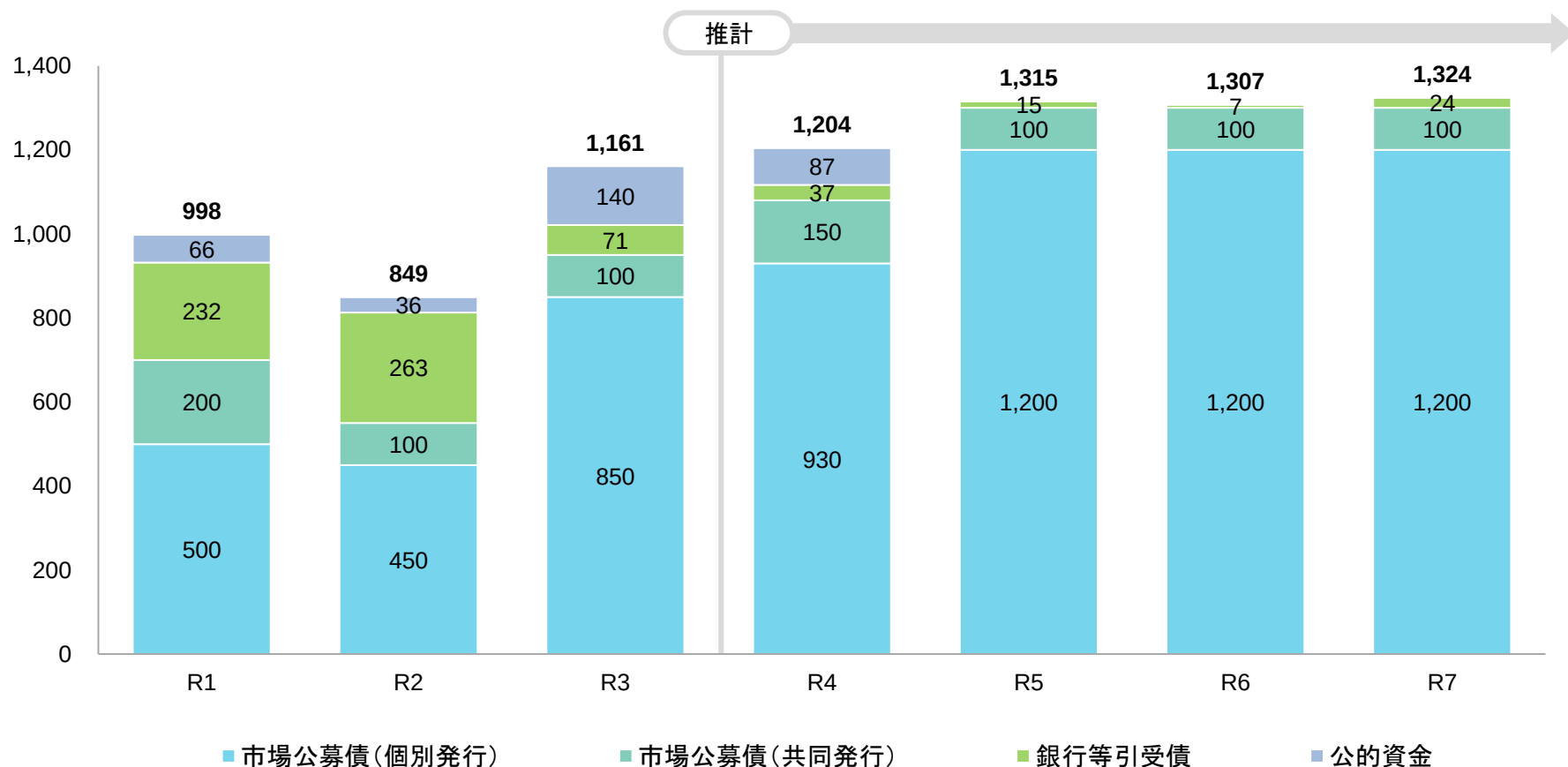


市債資金調達の推移(新規事業分+借換分)

- 各年度における市債発行額の8割～9割程度(800億円～1,000億円)を民間資金により調達しています
- 償還確実性に対する市場の信認を確保するため、市債管理基金へ確実に積立を行っています

市債資金調達の推移

(億円)



これまでの市場公募債(個別債)の発行状況

- 平成6年度から市場公募債を発行しています

過去3年間の発行状況

年度	条件決定日	回号	発行額 (億円)	年限	表面利率 (%)	払込日	償還日	発行価額 (円)	利回り (単利・%)	参照国債	スプレッド	カーブ比
R2	04/03	R2-1	100	10年	0.131	2020/04/24	2030/04/24	100	0.131	#358	+13.5bp	+13.0bp
	05/13	R2-2	100	5年	0.020	2020/05/26	2025/05/26	100	0.020	#338	(絶対値)	
	08/05	R2-3	100	10年	0.130	2020/08/21	2030/08/21	100	0.130	#359	+12.0bp	+11.0bp
	11/05	R2-4	100	10年	0.140	2020/11/25	2030/11/25	100	0.140	#360	+10.5bp	+10.0bp
	12/04	R2-5	50	20年(定償)	0.253	2020/12/25	2040/12/25	100	0.253	SL#127	+21.0bp	-
R3	04/02	R3-1	100	10年	0.204	2021/04/23	2031/04/23	100	0.204	#362	+8.5bp	+8.0bp
	05/12	R3-2	200	5年	0.010	2021/05/25	2026/05/25	100	0.010	#342	(絶対値)	
	10/06	R3-3	100	10年	0.125	2021/10/22	2031/10/22	100	0.125	#364	+6.5bp	+6.0bp
	12/03	R3-4	100	10年	0.135	2021/12/24	2031/12/24	100	0.135	#364	+7.5bp	+6.0bp
	12/03	R3-5	50	20年(定償)	0.230	2021/12/24	2041/12/24	100	0.230	SL#136	+15.0bp	-
	12/03	R3-6	100	30年(定償)	0.436	2021/12/24	2051/12/22	100	0.436	SL#162	+13.0bp	-
	02/04	R3-7	100	30年(定償)	0.579	2022/02/22	2052/02/22	100	0.579	SL#162	+13.0bp	-
	03/02	R3-8	100	10年	0.209	2022/03/25	2032/03/25	100	0.209	#365	+7.0bp	+6.0bp
R4	04/06	R4-1	150	10年	0.274	2022/04/22	2032/04/22	100	0.274	#366	+6.5bp	+6.0bp
	05/11	R4-2	200	5年	0.075	2022/05/25	2027/05/25	100	0.075	#346	+6.0bp	+5.0bp
	06/03	R4-3	80	20年(定償)	0.416	2022/06/24	2042/06/24	100	0.416	SL#140	+14.0bp	-
	06/03	R4-4	150	30年(定償)	0.761	2022/06/24	2052/06/24	100	0.761	SL#164	+18.0bp	-
	08/03	R4-5	100	10年	0.320	2022/08/25	2032/08/25	100	0.320	#367	+13.0bp	+12.0bp
	10/06	R4-6	100	30年	1.473	2022/10/25	2052/06/20	100	1.473	UL#75	+10.0bp	+10.0bp

令和4年度 市場公募債発行計画

- 昨年度に引き続き20年定時償還債、30年定時償還債を発行しています
- 今後も、投資家の皆様のニーズを踏まえた多様な年限・発行額・発行時期等を検討し、商品性の向上に努めて参ります

(令和4年10月7日時点)

区分	年限	発行総額	令和4年									令和5年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市場公募債	個別債	5年		200										
		10年	150				100			100程度				
		20年 (定時償還)			80									
		30年 (定時償還)			150									
		フレックス枠 ※							100 (30年満括)	50				
		小計												
	共同債	10年	90			10					20			30
合計		1,080程度												

※ 市場動向等に応じ、機動的に年限や発行額、発行時期等を決定します。



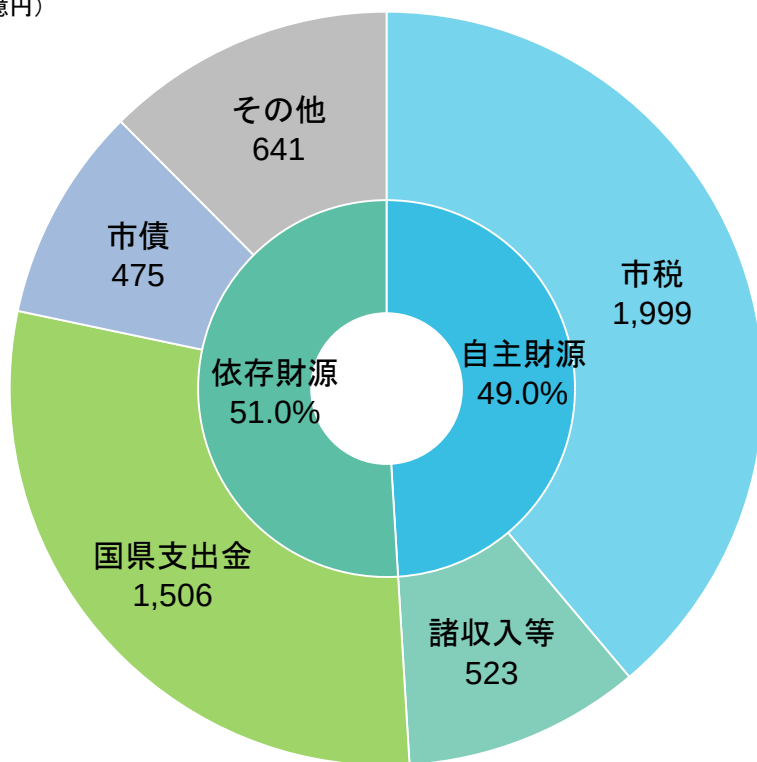
3.千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和3年度)

- 歳入全体に占める市税の割合が増加したことに伴い、自主財源の割合が49.0%(前年度比+3.4ポイント)となり、引き続き**厚い税収基盤(安定性の高い財政基盤)**となっております
- 歳出についても、より安全性の高い財政基盤構築に向け、**徹底した事務事業の見直しを行う**とともに、本市の持続的発展に必要な投資と財政の健全性の維持・向上とのバランスを図りながら、推進して参ります

歳入

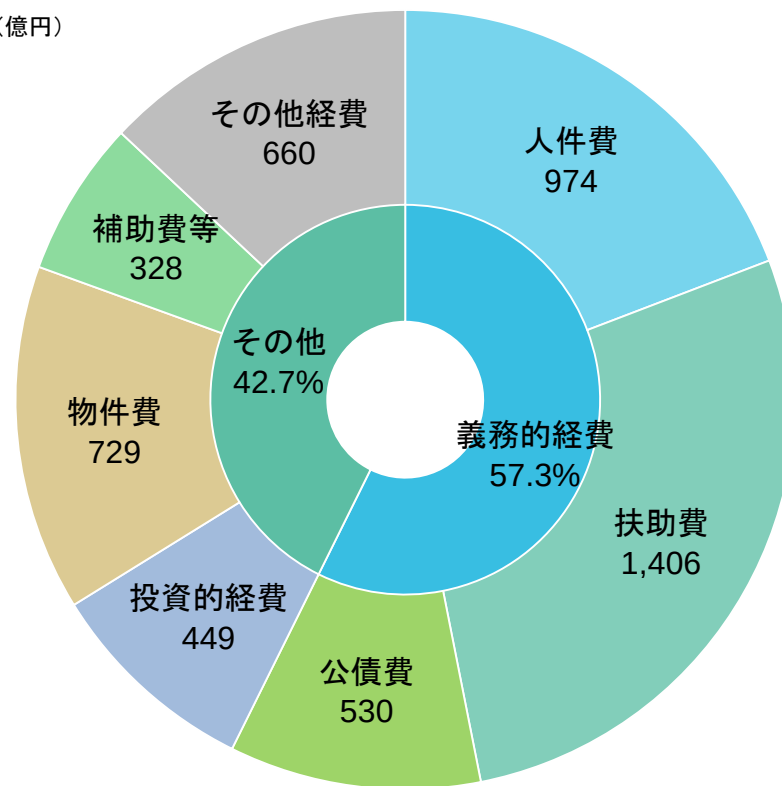
(億円)



歳入: 5,144億円

歳出

(億円)



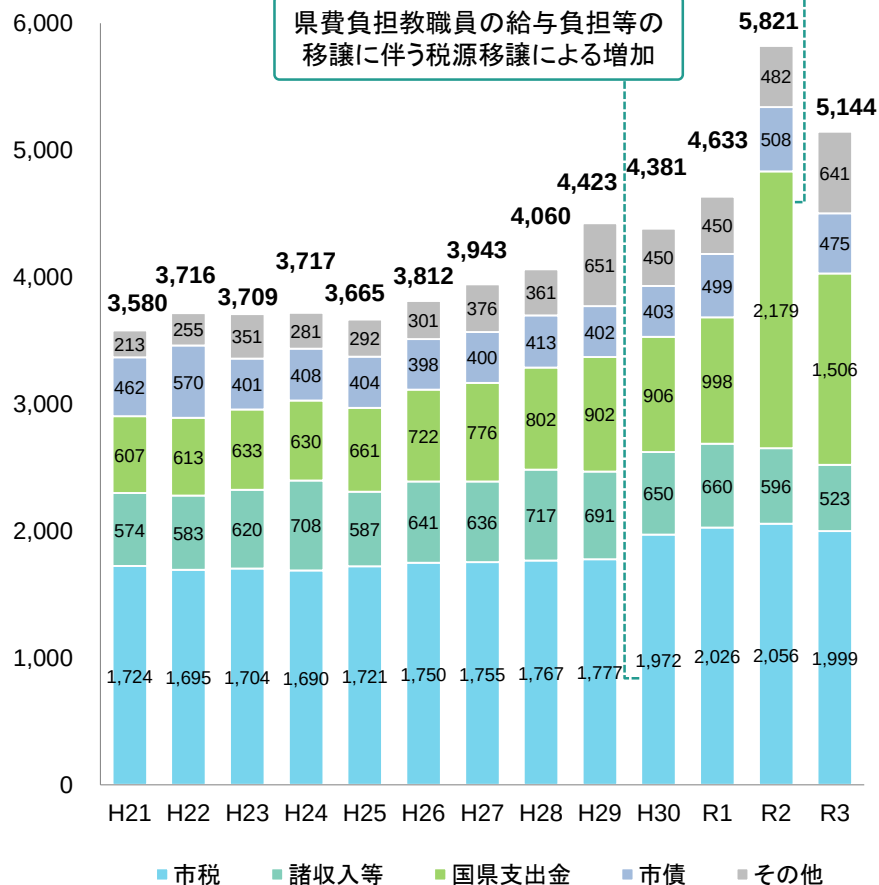
歳出: 5,076億円

普通会計における歳入規模と歳出規模の推移

- 歳入の根幹である市税収入は、直近4年間では2,000億円程度で推移しています
- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)については、扶助費の増加や、公債費の高止まり等により増加傾向です

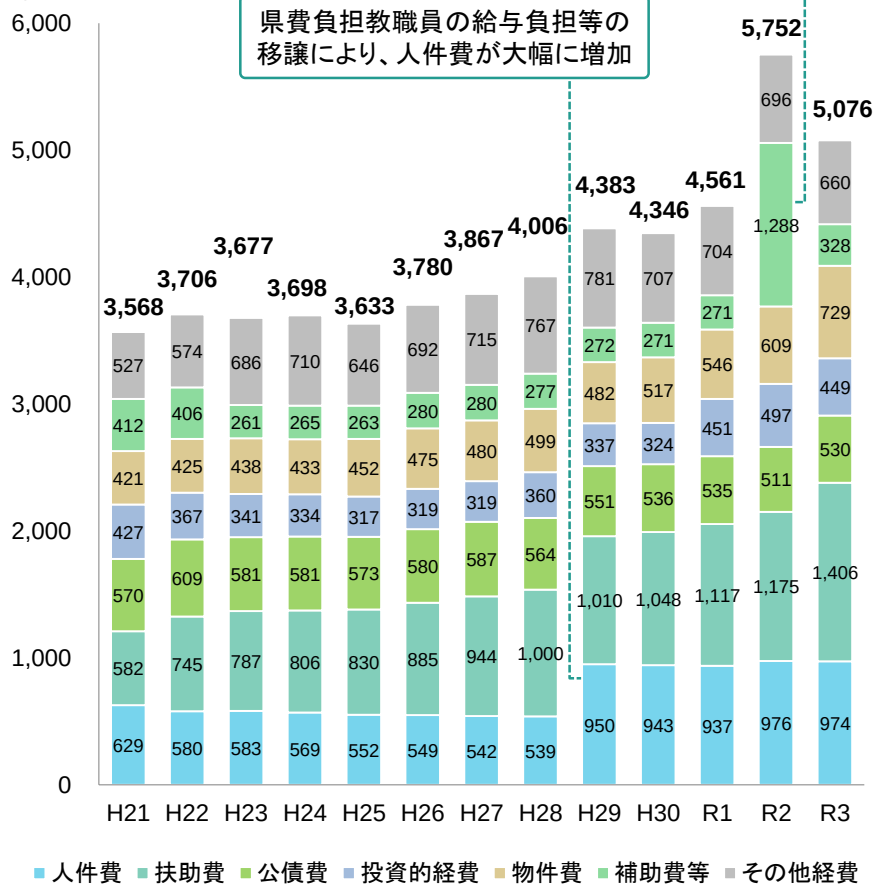
歳入の推移

(億円)



歳出の推移

(億円)



中期財政運営方針(令和4年度～令和7年度)

- これまでの財政健全化の取組みにより**健全化判断比率や債務が一定水準まで改善**しました
- 中長期的な視点を持って、持続的发展につながる必要な投資を着実に推進しつつも、財政運営の質の向上を図り、**将来にわたり持続可能な財政構造の確立**を目指します

策定の趣旨

財政健全化プラン

目標	過去の負債の解消	ストックの観点から債務の削減等を目指す
----	----------	---------------------

中期財政運営方針

目標	財政運営の質の向上	フローの観点から中長期的な基礎的財政収支(プライマリーバランス)の均衡等を目指す
----	-----------	--

主な内容

方針 プライマリーバランス

中期的な均衡を目指す

- 黒字を維持することにより、将来負担(市債残高)の抑制に資する

方針 健全化判断比率 等

直近決算値同水準維持を目指す

- 実質公債費比率:11.8%
- 将来負担比率:128.8%

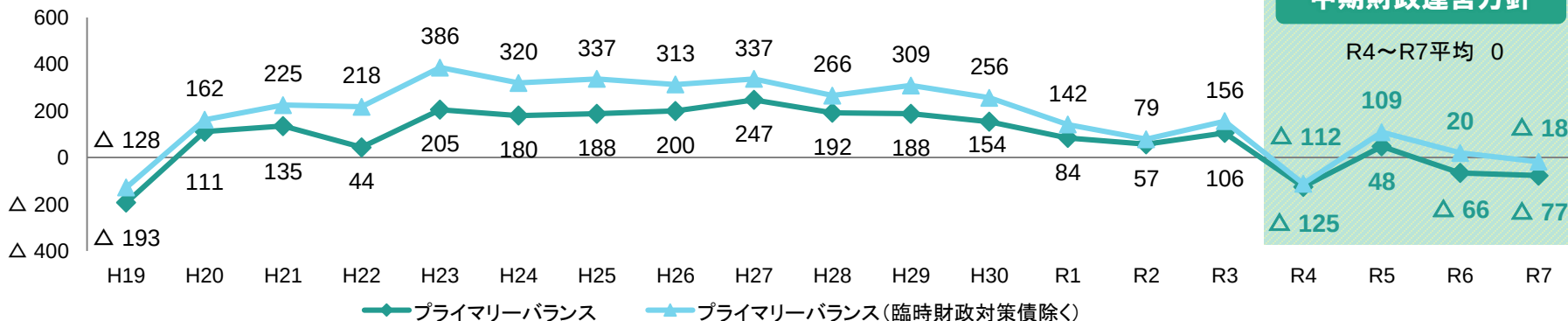
方針 基金借入金返済

期間内に80億円程度の返済を目指す

- 基金からの借入は臨時的な対応であり、早期の解消が必要

プライマリーバランスの推移

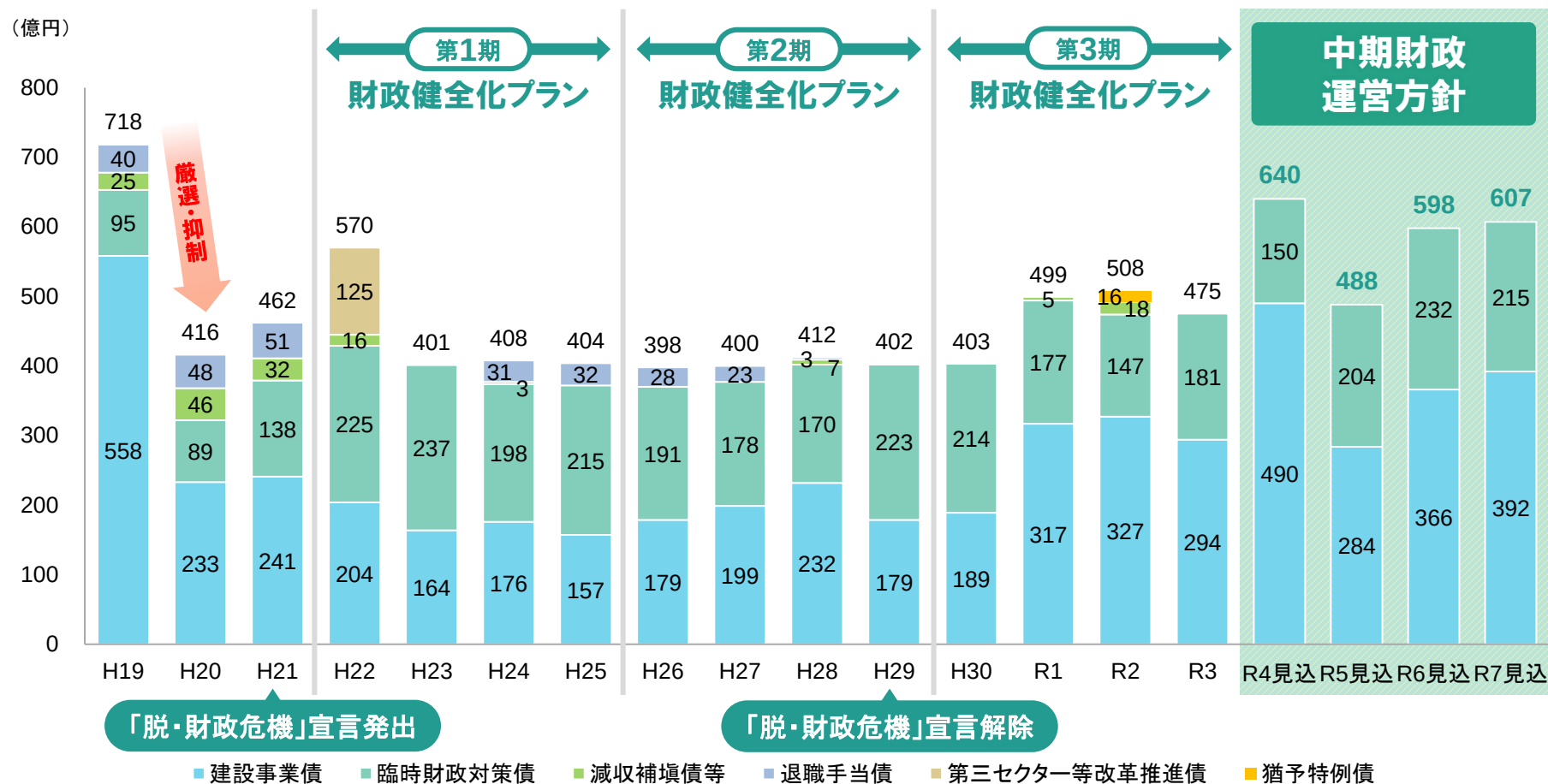
(億円)



普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)

- 平成20年度から建設事業を厳選し、市債(建設事業債)の発行を抑制してきました
- 今後は、老朽化により実施せざるを得ない新庁舎・新清掃工場等の大規模事業が集中することに加え、政令市移行の際に整備した公共施設やインフラ施設等の改修等により、発行額は一時的に増加することが見込まれます

市債発行額の推移

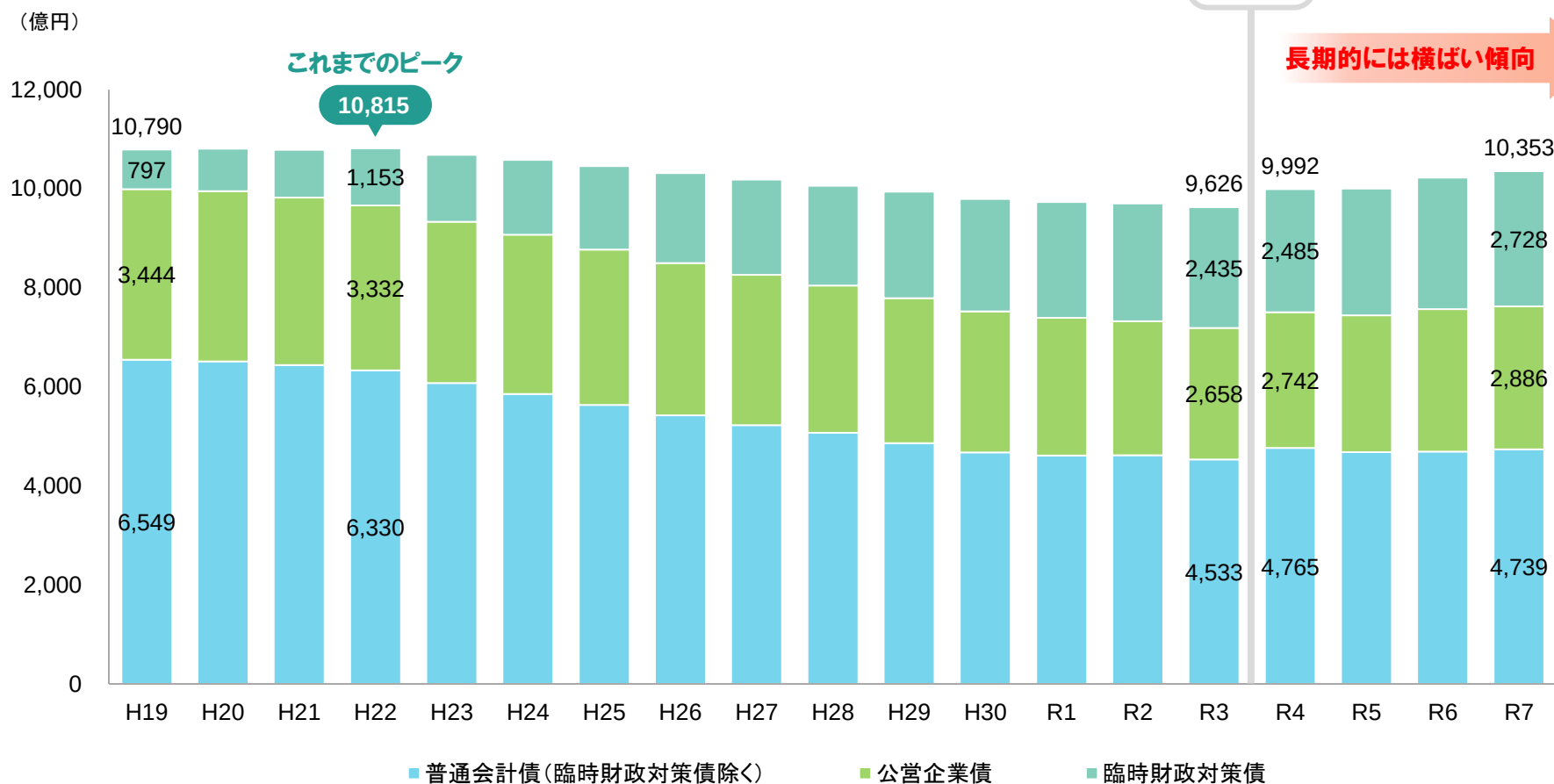


※ R3までは決算値、R4は予算値、R5以降は「今後の財政の見通し」(R4.3公表)における推計値

全会計における市債残高の推移

- 臨時財政対策債は増加していますが、事業を厳選し、建設事業債の縮減に努めて参りました
- 今後、一時的な発行額の増加に伴い、市債残高も増加することが見込まれます

市債残高の推移

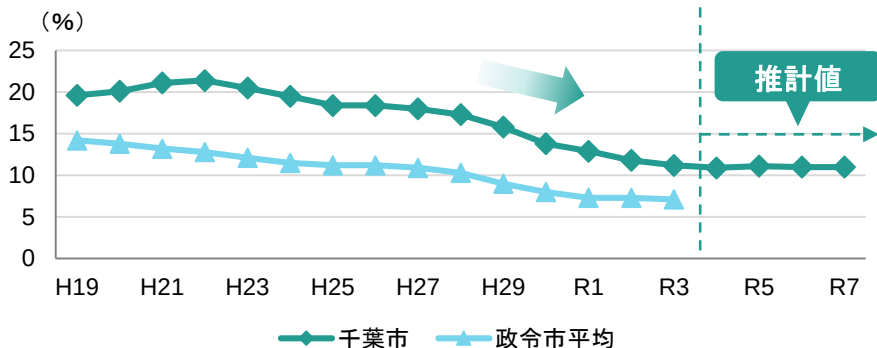


※ R3までは決算値、R4は予算値、R5以降は「今後の財政の見通し」(R4.3公表)における推計値

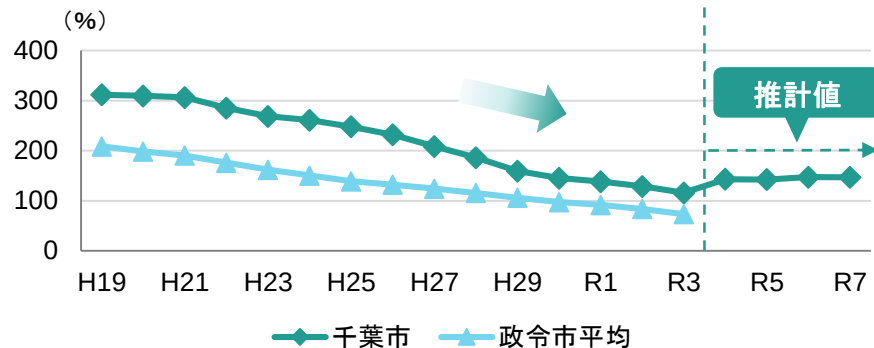
健全化判断比率の推移

- 令和3年度は実質公債費比率が▲0.6ポイントとなるなど、健全化判断比率は低減しています
- 今後、発行額及び市債残高の一時的な増加に伴い、実質公債費比率・将来負担比率の一時的な上昇が見込まれます

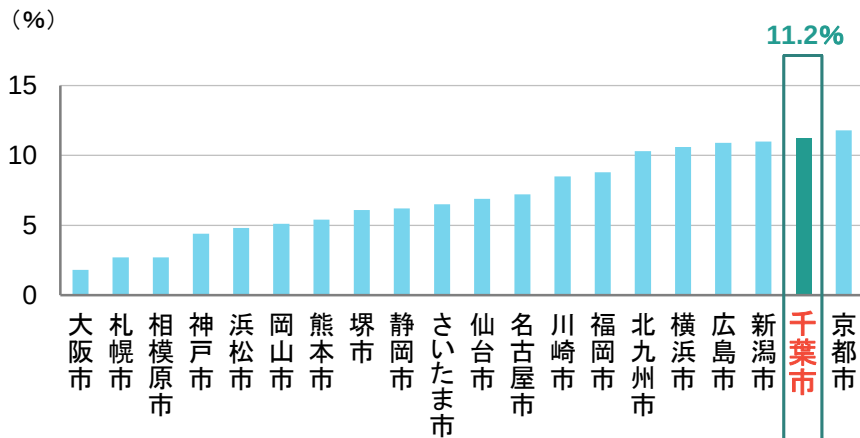
千葉市の実質公債費比率の推移



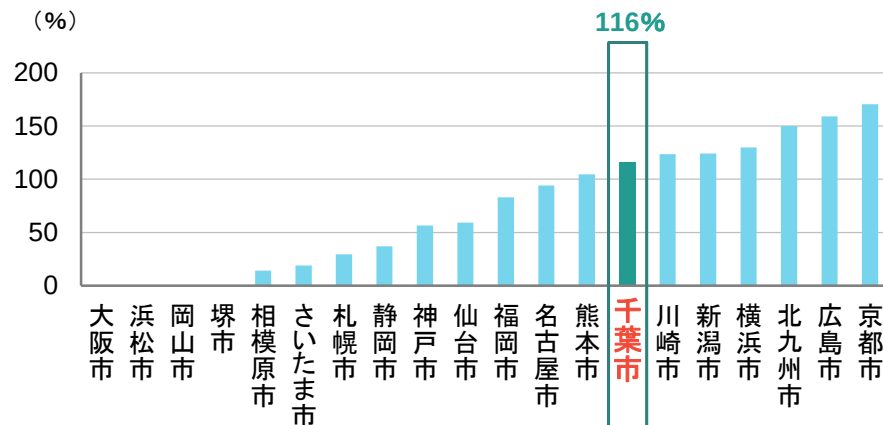
千葉市の将来負担比率の推移



実質公債費比率(政令市比較)



将来負担比率(政令市比較)

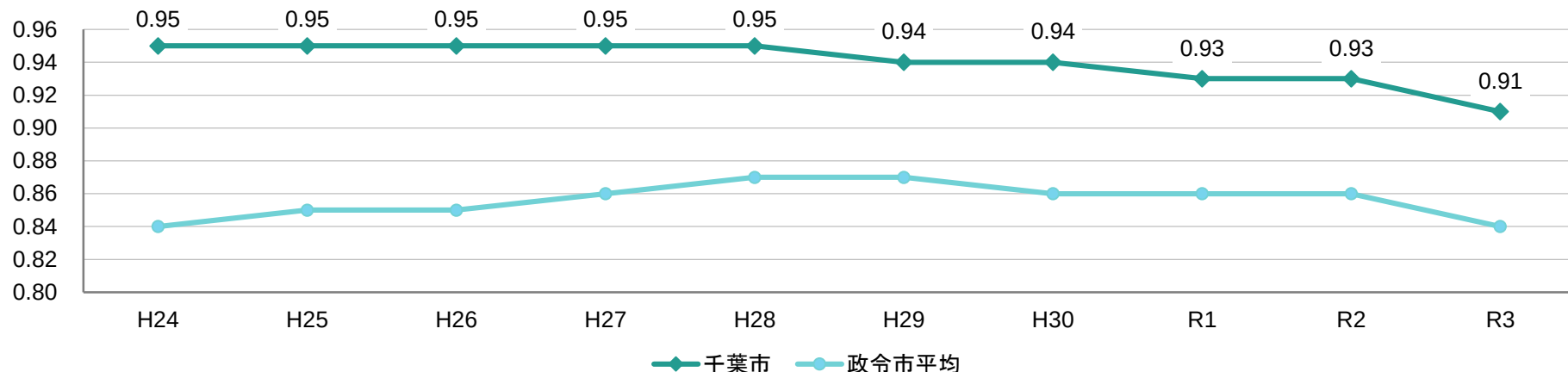


- ※ R3までは決算値、R4は予算値、R5以降は「今後の財政の見通し」(R4.3公表)における推計値
- ※ 他市のデータはR4.9.30総務省発表の速報値
- ※ 実質公債費比率: 公債費等の標準財政規模に対する割合
- ※ 将来負担比率: 将来負担債務の標準財政規模に対する割合

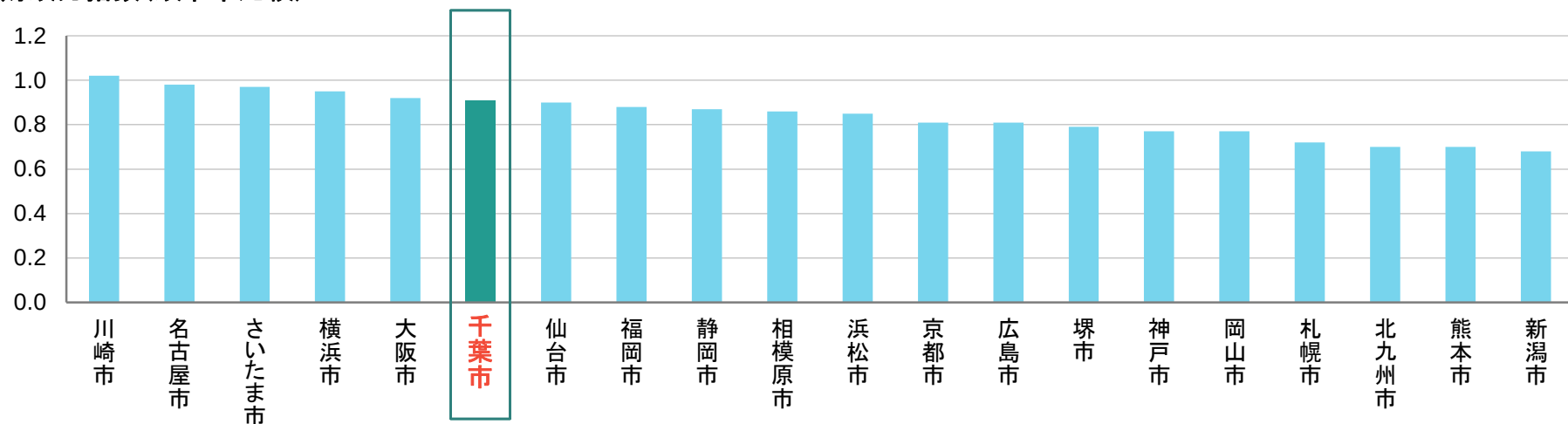
財政力指数の推移

- 令和3年度決算においては、**0.91**となっております

千葉市の財政力指数の推移



財政力指数(政令市比較)※令和3年度決算

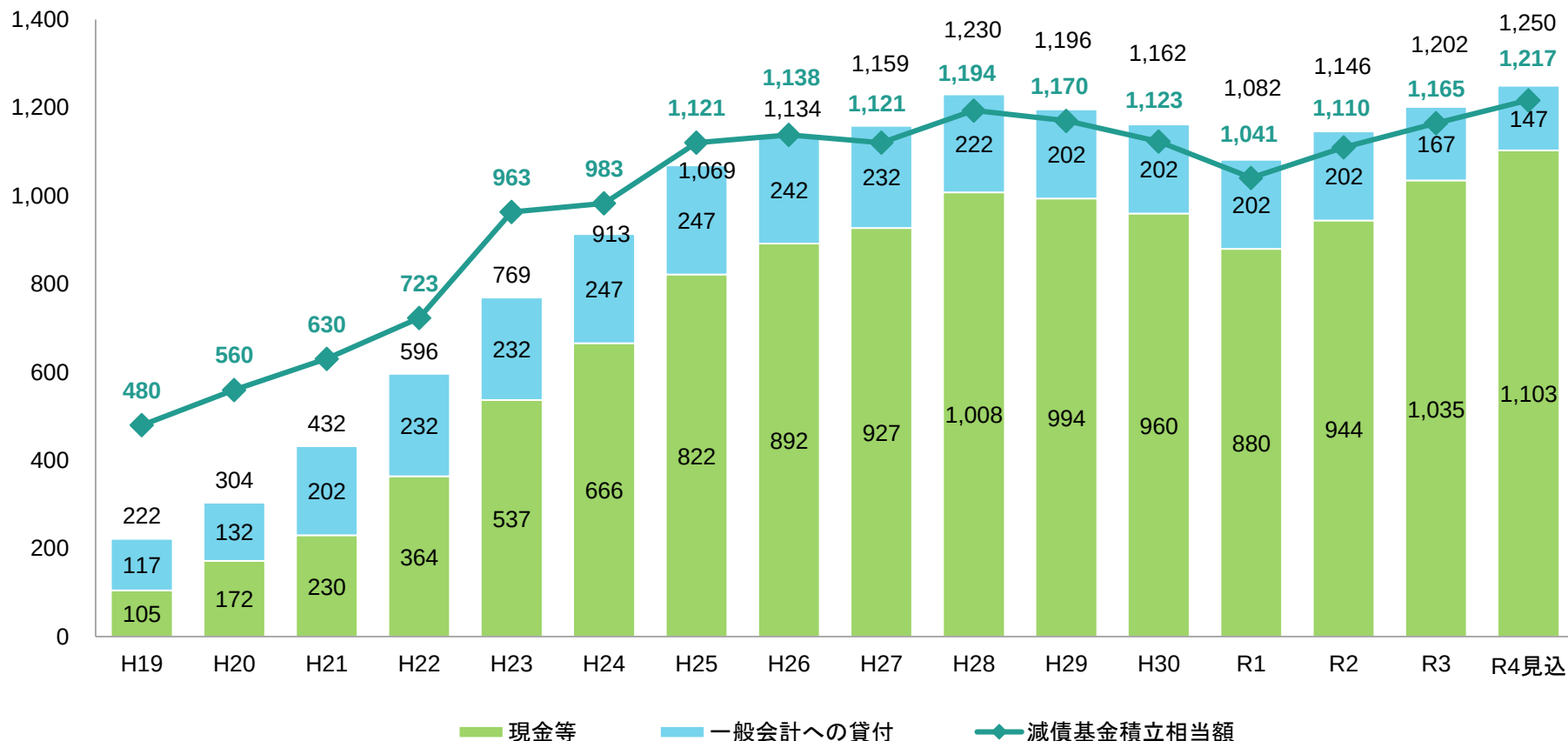


市債管理基金(減債基金)

- 満期一括償還地方債の元金償還に充てるため市債管理基金を設置し、ルールに基づき着実に積立を行い償還財源を確保しています
- 一般会計の収支不足を解消するため、平成15年度～平成28年度まで、市債管理基金から新規借入をしていました
- 現在、**一般会計における市債管理基金からの借入金残高の圧縮に注力**しています。借入金残高はピーク時(H24・H25)から100億円の減(R4予算)となっており、今後も計画的(R4～R7の間に80億円程度の返済)に縮減します

市債管理基金の推移

(億円)



※ R3までは決算値、R4は予算値

※総務省ルールに基づき算定した積立額



4.千葉市の取組みについて



令和4年度当初予算の特徴

- 将来にわたり持続可能な財政構造を確立するため、中長期的な視点を持って健全性を維持した財政運営を行います
 - 都市の利便性向上と自然の豊かさを感じられ、長く暮らし続けられるよう、防災、環境、医療、介護、子育て、教育、都市づくりなどを中心に、本市の発展のため、真に必要な投資を着実に推進します
- 総額: 9,295億5,300万円 / 一般会計: 4,884億円 / 特別会計: 4,411億5,300万円

新型コロナウイルス感染症対策



- ・感染者等への対応
- 軽症者等の宿泊療養施設の確保
- 自宅療養支援、PCR等検査体制の確保 等
- ・経済対策
- 中小企業者事業継続支援金
- テレワークプラン販売促進 等

安全・安心



- ・地域防災力の向上
- 九都県市合同防災訓練
- 屋根台風診断・改修助成 等
- ・防犯対策の推進
- 繁華街客引き対策
- 防犯カメラ設置費助成額等引き上げ 等

環境・自然



- ・地球温暖化対策
- 2050年脱炭素社会実現に向けた取組み 等
- ・緑と水辺の活用と充実
- 千葉公園の再整備 等
- ・緑の保全と創出
- 大賀ハス開花70周年記念事業 等

健康・福祉



- ・地域包括ケアシステム構築・強化
- 特別養護老人ホーム整備費助成
- 若年性認知症支援 等
- ・医療・健康支援
- HPVワクチン接種、産後ケア、新病院整備 等

子ども・教育



- ・学びを支える教育環境の充実
- 若葉住宅地区小学校新設
- 中等教育学校整備 等
- ・保護・放課後児童対策の充実
- 子どもルーム・アフタースクールの整備
- 民間保育園等整備 等

地域社会、文化・スポーツ



- ・生涯学習の推進
- 花見川図書館とこてはし台公民館の複合化 等
- ・文化・芸術活動の創出と支援
- 市民会館の再整備、音楽団体等支援 等
- ・文化財の保全・活用
- 特別史跡加曾利貝塚史跡等の整備 等

都市・交通



- ・千葉駅周辺の活性化推進
- 千葉駅周辺市街地再開発
- 千葉駅周辺における官民連携まちづくり 等
- ・幕張新都心の整備
- ZOZOマリンスタジアム今後のあり方検討基礎調査、幕張新都心拡大地区新駅設置 等

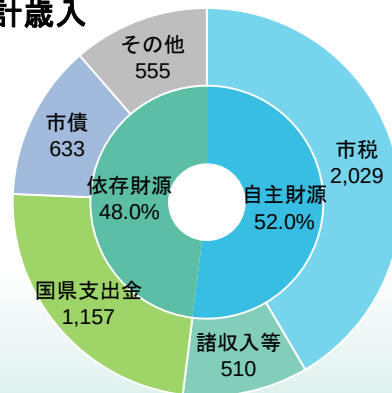
地域経済・農業振興



- ・地域経済の新たな担い手の創出
- 企業立地促進 等
- ・農業の担い手確保・育成
- 農政センターリニューアル
- 農業継承者経営発展支援 等

一般会計歳入

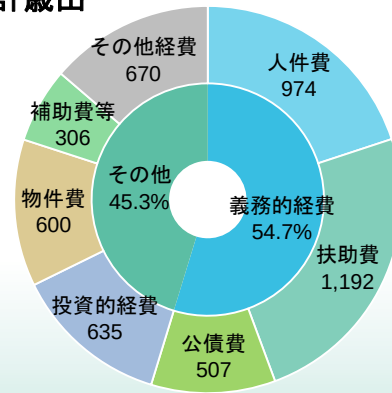
(億円)



歳入: 4,884 億円

一般会計歳出

(億円)



歳出: 4,884 億円

千葉市独自の主な新型コロナウイルス感染症対策、原油価格・物価高騰対策

- 基礎自治体として基本的な感染拡大防止対策や物価高騰対策を実施する他、千葉市独自の対策として、軽症者の宿泊療養施設確保等の感染拡大防止対策や、下水道使用料等の減免等の物価高騰対策を行い、市民生活の維持及び地域経済の支援に注力しています
- 新型コロナウイルス感染症対策、原油価格・物価高騰対策にかかる当市の予算は、令和元年度～令和4年度9月補正予算までの合計で約2,178億円計上しており、その財源については約95%を国・県の支出金を活用しています

千葉市独自の主な新型コロナウイルス感染症対策、原油価格・物価高騰対策(令和4年度)

事業名	事業概要
下水道使用料等の減免	物価高騰の影響を受ける市民や事業者の負担を軽減するため、下水道使用料等の一部を減免
市内企業等緊急特別支援融資	物価高騰の影響を受ける市内企業等に対して、経営安定を目的とした緊急融資枠を設けるとともに、融資利用者に対して、物価高騰の負担を一部軽減するため、支援金を支給 (融資限度額及び利率 5,000万円、年1.4%以内) (給付額 融資調達額の3.6%)
中小企業者緊急特別支援金	令和4年4月～11月における原材料費等のコストが対前年比で10万円以上増加した中小企業者に対して、支援金を支給 ※給付額・・・コスト増加額に応じ、5万円～15万円 (BCP(事業継続計画)を策定・改定した場合、10万円を上乗せ支給)
子育て世帯臨時給付金	物価高騰に直面する子育て世帯の生活を支援するため、中学生までの児童を養育する世帯へ臨時給付金を支給
民間保育施設・高齢者施設等支援	物価高騰の影響を受ける民間保育施設、高齢者・障害者施設等の負担を軽減するため、光熱水費の負担増に係る経費を助成
中小企業者事業継続支援	国の支援金の対象外となる令和3年11月から令和4年3月までのいずれかの月の売上高が20%以上30%未満減少した市内中小企業者への支援 (給付額・・・1事業者当たり20万円)
軽症者の宿泊療養施設確保	重症患者を優先し、限られた医療資源を有効活用するため、軽症患者・無症状感染者の療養施設を確保



■ SDGsの17すべてのゴール達成に向けて各種取組みを推進しています

■ 特に令和元年度に発生した台風被害を踏まえて、「災害に強いまちづくり政策パッケージ」を策定するとともに、日本含め世界各地で気候変動による災害が多発する中、**気候危機は持続可能な社会の根幹を脅かすもの**と認識し、これに立ち向かう行動を推進すべく、「千葉市気候危機行動宣言」を公表しています

SDGs達成に向けた千葉市の取組み



・貧困対策推進
(子どもの貧困対策推進計画策定)



・地産地消の推進
(区役所朝市や直売所等)



・受動喫煙対策の推進
(受動喫煙の防止に関する条例制定)



・生涯学習の推進
(生涯学習センターの設置)



・男女共同参画の推進
(パートナーシップ宣誓制度等)



・水道水の安全性向上
(水安全計画策定)



・再生可能エネルギー等の導入推進
(公用車の燃料電池自動車導入等)



・起業支援
(創業支援補助金制度)



・近未来技術実証・多文化都市の構築
(ドローン宅配構想実現に向けた実証実験等)



・バリアフリー化の推進
(バリアフリーマスタープラン策定)



・災害に強いまちづくりの推進



・食品ロスの削減
(フードドライブの実施)



・気候変動対策の取り組み



・プラスチックごみ削減に向けた啓発活動の推進
(小学校での体験型学習開催)



・生物多様性の保全
(谷津田の自然の保全施策指針策定)



・児童虐待防止の推進
(児童相談所の体制強化)



・市民自治の推進
(市民自治によるまちづくり条例制定)

「災害に強いまちづくり政策パッケージ」(令和2年1月23日策定)

■ 令和元年度の台風被害の経験を活かし、**災害に強いモデル都市**への取組みを推進しています

令和元年房総半島台風・東日本台風・10月25日大雨による被害

- ・倒木による大規模長期停電(最大94,600軒、最長20日間)
- ・大規模な通信途絶、停電による断水
- ・大雨によるがけ崩れ(98か所、死者3人)、道路冠水(303か所)、住家等
- ・浸水(124軒)

1 電力の強靱化

- ・全ての公民館・市立学校等に太陽光発電設備・蓄電池整備
- ・EV等で電気を届けるマッチングネットワークの構築(政令市初)等

2 通信の強靱化

- ・停電しても通信途絶が起こらない仕組みの構築(携帯電話基地局の電力維持など)
- ・固定電話網の維持等

3 土砂災害・冠水等対策の強化

- ・危険ながけ地付近からの移転助成
- ・冠水等対策の強化(雨水貯留槽等)等

4 災害時の安全・安心の確保

- ・多様な手段で災害情報を収集・発信
- ・断水対策の強化等

5 民間企業等との連携拡大

- ・幅広い連携による災害対応の強化(東京電力パワーグリッド・NTT東日本等)

「千葉市気候危機行動宣言」(令和2年11月20日公表)

■ 千葉市では、地球規模で直面している気候危機を、市民、団体、企業、大学、行政などの様々な主体が共有し、将来世代へ持続可能な社会を繋いでいくため、**気候危機に立ち向かう行動を進めていくこと**を目的としています

1. 消費エネルギーの削減や再生可能エネルギーの創出に加え、再生可能エネルギー由来電力の活用を進めることにより、**2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ**を目指します
2. **気候変動による自然災害や健康被害などの影響への適応策**に取り組み、市民の生命・生活・安全がおよびかされることのないまちを目指します
3. 気候変動への危機意識を共有し、自ら行動を起こすことにより、**将来世代も安心して暮らせる持続可能なまち**を目指します



ふるさと納税 ～一般財源確保に向けた取組み～

- 寄附者の想いを市政に活かすという、ふるさと納税本来の趣旨を重視しています
- 本市の魅力発信や事業者支援、地域活性化に資するような返礼品の拡充など、本市に一層関心を持っていただけるような取組みを推進しています

千葉市らしさを表現できる返礼品の拡充

千葉市の魅力発信



地元特産品のPRや
販路拡大による事業者支援

一般財源の確保

返礼品の一例



千葉県産落花生100%を使用した
焦がしピーナッツペースト



千葉市のブランド「千」に認定された
平均糖度10～11度の高糖度ミニトマト

活用方法の一例

ZOZOマリンスタジアムの充実

ZOZOマリンスタジアム(千葉ロッテマリーンズのホームグラウンド)の施設改修及び充実に活用



お問合せ先

千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL: 043-245-5078

FAX: 043-245-5535

E-mail: shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

<https://www.city.chiba.jp/zaiseikyoku/zaisei/shikin/index.html>



※ 本資料は、千葉市債の購入を御検討いただいている投資家の方々に、千葉市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売出し又は募集を意図するものではありません。